

障害者支援施設 障害者福祉センター厚和寮

1 基本方針

障がいのある方に対し、快適な施設生活が送れるよう介護サービス提供の充実を図るとともに、地域や家庭での新たな生活に向けて安心して移行できるよう支援を行う。

在宅の障がい者に対する安全安心な日中活動の場所を提供し、ケアマネジメントの手法を活用して社会リハビリテーションを中心とした各種サービスを提供する。

また、地域生活に必要な社会生活力を高めるとともに、地域資源との連携の中で自立と社会活動への参加を目指した支援を行う。

2 今年度重点事業目標

(1) 安定した経営をめざす

ア 目標稼働率を明確にし、その達成に努める。

目標稼働率 [生活介護：88%、施設入所支援：102%、短期入所：40%]

イ 安心安全で快適なサービスの提供を行い、利用者の確保に努める。

ウ 潜在的なサービス利用者の情報収集に努め、迅速に定員の充足を行う。

エ 改築に向けて、隣接する友愛寮と情報共有を図り、具体的な検討を進める。

(2) 一人ひとりの自己実現を目指したサービスの提供

ア 個別支援計画に基づき、サービスの提供状況や目標の達成状況を毎月確認し、次期計画に反映させPDCAサイクルを徹底する。

イ 家族・利用者・職員に、サービス提供に関するアンケートを行い、業務改善の材料として活かす。

ウ 医療機関との連携を強化し、異常の早期発見・早期治療に努める。

エ 「多職種連携」を合い言葉とし、支援・医務・訓練・心理士・調理等各部署間によるチームケアの実践を図る。

(3) 地域共生の土壌作りに努める

ア 実習・ボランティア・研修・見学などの積極的な受け入れを行い、施設や障がいに対する理解を促し、地域共生の土壌作りに努める。

イ 地区公民館手話教室への講師派遣・地域活動等へのアウトリーチを積極的に行う。

ウ 虐待・緊急案件等に係る利用者を積極的に受け入れることで、鳥取市等の地域生活拠点整備事業の推進に寄与し、自施設の社会資源としての機能を高める。

エ 「鳥取市自立支援協議会」に参画し、入所施設の立場から福祉ニーズや地域課題などの意見や要望を積極的に発信する。

(4) 働きやすい職場作り

ア 厚和寮基本方針・倫理綱領の浸透と実践を進める。

イ 「厚和寮支援の心得」の浸透を図り、対人援助技術の向上と職員のメンタルヘルスを行う。

ウ 復命研修・寮内研修を充実させ、志の高い職員集団を目指す。

エ 法人内施設間の職員派遣研修を積極的に行い、職員の学びの機会とするとともに、相互施設におけるサービスの向上に繋げる。